

# もしもの時をイメージして

# 突然やってくる災害には

外出先で災害に遭ったら？

宝塚市では、通勤や通学などで大阪や神戸方面に通っている方がたくさんいます。災害は時間を選んでくれません。帰宅困難者になる可能性は誰にでもあります。外出先で災害にあった場合の備えもしっかり考えましょう。

## ● まずは、家族の安否確認

外出先で災害にあった場合、一番気がかりなのが家族の安否。安否がわかれば、むやみに徒歩帰宅をする必要もありません。日頃から、安否確認の方法を共有しておきましょう。

## ◆ 声の伝言板

NTT 災害用伝言ダイヤル 171

災害時に提供される「声の伝言板」固定電話・携帯電話・公衆電話から利用可能。1つの伝言につき30秒まで録音できる。

## ◆ 文字の伝言板

携帯電話用 災害用伝言板

携帯電話会社が提供するサービスで、100文字程度のメッセージを残すことができる。また、消息を知りたい人のメッセージを読むことができる。使い方は会社によって違うので、日頃から確認を。

その他  
携帯電話のメールを利用  
パソコンのEメールを利用  
災害用ブロードバンド伝言板 (web171)を利用



## ◆ 3点連絡法

あらかじめ遠方の身内や友人などを連絡先に決めておき、一人一人がその連絡先に安否を報告しておく。



## ● 帰る？ それとも… とどまる？

東日本大震災では、首都圏の電車がストップしたため、徒歩で帰宅しようとした人々によって大混雑が起きました。もし災害が起きて、人々が無秩序に徒歩帰宅を始めると…

- 道路が満員電車状態になり通りにくくなる
- コンビニ等に人が殺到し、食料、飲料が不足するほか、トイレも大混雑に！
- 帰宅途中の避難所が徒歩帰宅者であふれる可能性がある

また、災害が発生した場所によっては、自宅までの道路に被害が発生している場合も考えられます。徒歩で帰宅しても大丈夫と判断できるまでは、「災害宿泊」の選択も検討してみましょう。



子どもの学校は？

## ポイント

### ◆ 「災害宿泊」できる場所は？

会社・学校→災害時の宿泊を想定した設備があるか確認しておきましょう。

臨時避難所→自治体や大型商業施設などが避難スペースを開放する場合があります。

通勤・通学途中に、あったかな？